

2023年11月19日

「かみさまのやくそく」

創世記15：1-6

竹島 敏牧師

歳をとっても子どもを授からなかったアブラムに、主なる神は満天の星を見せ、「あなたの子孫はこのようになる。」と言われます。数えきれないほど多くの子孫を与えるという主の約束を信じたアブラムを、神様は正しいとされました。そしてこのアブラムは「アブラハム」と呼ばれるようになり、神様からますます大きな、大事な役割を与えられるようになります。この人は神様から選び出されて大事な役割をいただいた人ですが、何か特別なことができる人ではなく、むしろ私たちと同じようにたくさんの心配事を抱え、迷ったり悩んだりする人のように思えます。しかしそのたびに神様から命じられたとおりにし、与えられた役割を果たすことに自分の命の全てを注いだ人でした。神様はそのようなアブラハムの子孫に大切な役割をさらに引き継がせることにし、神様の思いがアブラハムの命に注がれ、そしてそれが子孫たちに受け継がれてゆく、という命の流れになっていったのでした。

新約聖書の一番初めに、アブラハムから始まりダビデへと続き、イエス様のお父さんであるヨセフまで繋がる系図が書かれています。血の繋がりはここで途切れます。私たちにも系図は残ってなくても、数えきれないほどのたくさんの命の繋がりがあり神様がその繋がりを守り続けてくださって、私たちはこの世界に生まれてきました。一番大切なのは血の繋がりでなく、神様の命にしっかり繋がり、イエス様の命とイエス様を信じる人たちの命としっかり繋がっているということです。そして神様の見守りと導きの下に色々な人の命が関わり合って、私たちの命が輝き続けるということです。すべての命の源である神様の愛にしっかりと繋がって、神様の愛に生きることができるよう。